



MES-CK07-990-10-2

2021年10月6日(第1版)

IVRワーキングテーブルセット

取扱説明書



本製品を使用する者は、この取扱説明書を必ず読んで、内容を理解してから操作を行ってください。
取扱説明書は本製品に関わる者の参考のために、適切な収納場所に保管し、必要なときに読めるようにしてください。

【使用目的】

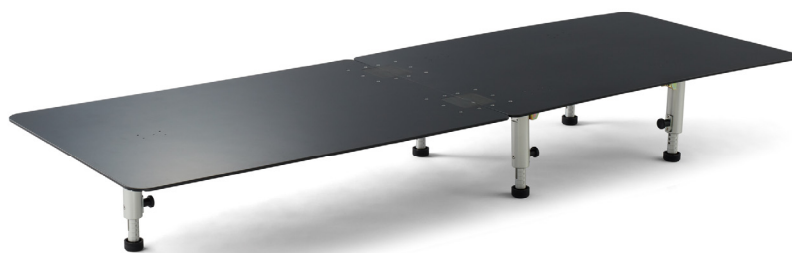
本製品はカテーテル操作の効率を高める目的で製造された製品です。



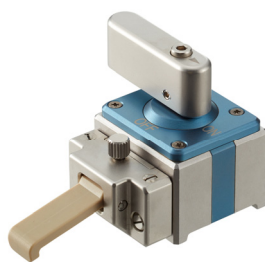
- 1) 直射日光や、高温多湿を避け保管すること。
- 2) 本製品に傷や破損がある場合は使用しないこと。
- 3) 本製品に Y コネクタを装着する際本製品及び Y コネクタを破損しないよう注意すること。
- 4) 製品を落とさないように注意すること。
- 5) 使用時には、ドレープを併用し本製品と患者を直接接触させないこと。
- 6) 本製品の使用にあたり、目的以外の用途で使用しないこと。

【各部品説明】

① IVR ワーキングテーブル



② マグネティックホルダー



③ ブリッジングテーブル



④スライディングプレート



⑤マルチパーパススライディングベース(MSB)



⑥サイドパネル



商品コード	JAN コード	商品名	セット 数量	重量	洗浄方法	高圧蒸気 滅菌	
07-990-10	4946329369731	IVR ワーキングテーブルセット	—	30.2 kg (専用ケース込み)	—	—	
①	07-990-11	4946329369670	IVR ワーキングテーブル	1	13.2 kg	清拭	×
②	07-990-12	4946329369687	マグネティックホルダー	1	0.3 kg	中性洗剤を 用いた洗浄	○
③	07-990-13	4946329369694	ブリッジングテーブル	1	0.6 kg		○
④	07-990-14	4946329369700	スライディングプレート	1	0.4 kg		○
⑤	07-990-15	4946329369717	マルチパーパス スライディングベース(MSB)	2	0.1 kg		○
⑥	07-990-16	4946329369724	サイドパネル	2	0.3 kg		○



【洗浄・滅菌について】

本品は未滅菌品です。使用に際しては、必ず清拭または洗浄および滅菌を行ってください。

また、高圧蒸気滅菌に対応する部品は、適切に機能することが確認された高圧蒸気滅菌器による標準的滅菌条件又は医療機関で滅菌バリデーションが検証され、有効性が立証された滅菌条件により滅菌を行ってください。

標準的滅菌条件の例：高圧蒸気滅菌(日本薬局方)

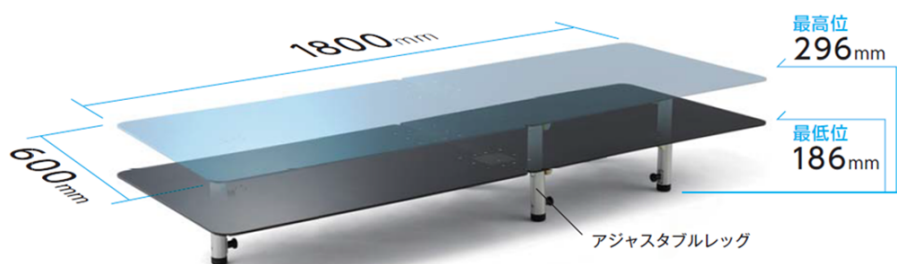
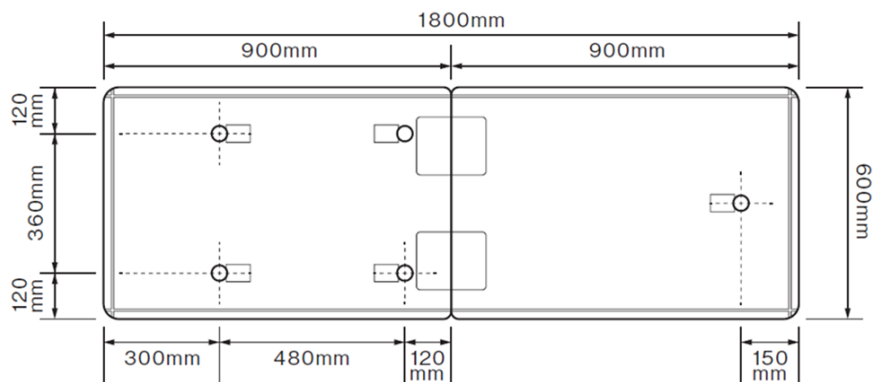
滅菌温度	保持時間
115-118℃	30分
121-124℃	15分
126-129℃	10分

クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)患者、又は疑いのある患者に使用した器具の滅菌条件の例：高圧蒸気滅菌(ガイドライン参照)

滅菌温度	保持時間
134℃	18分

【製品仕様】

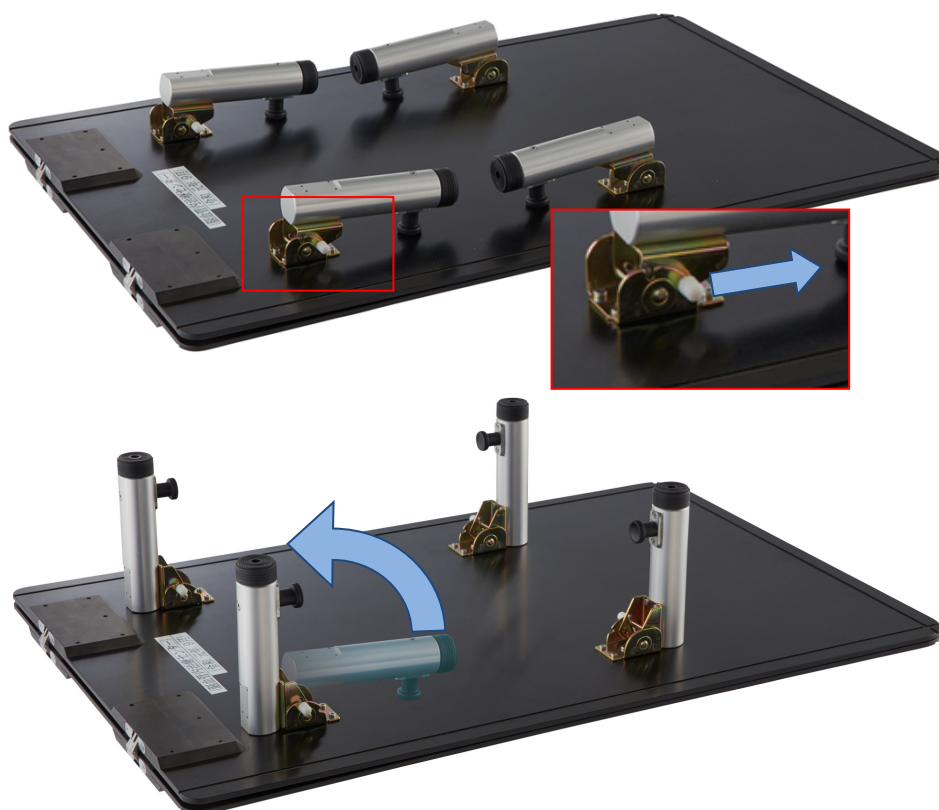
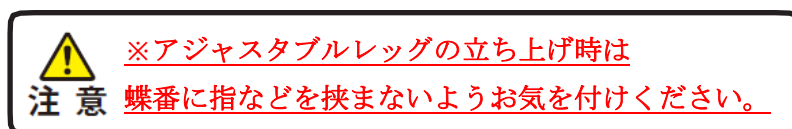
外寸図



【使用方法】

1. IVR ワーキングテーブルの展開

- 1.1 IVR ワーキングテーブルに取り付けられた4本のアジャスタブルレッグを立てます。
白いツマミをアジャスタブルレッグ足先側へ引っ張りながら立ち上げます。

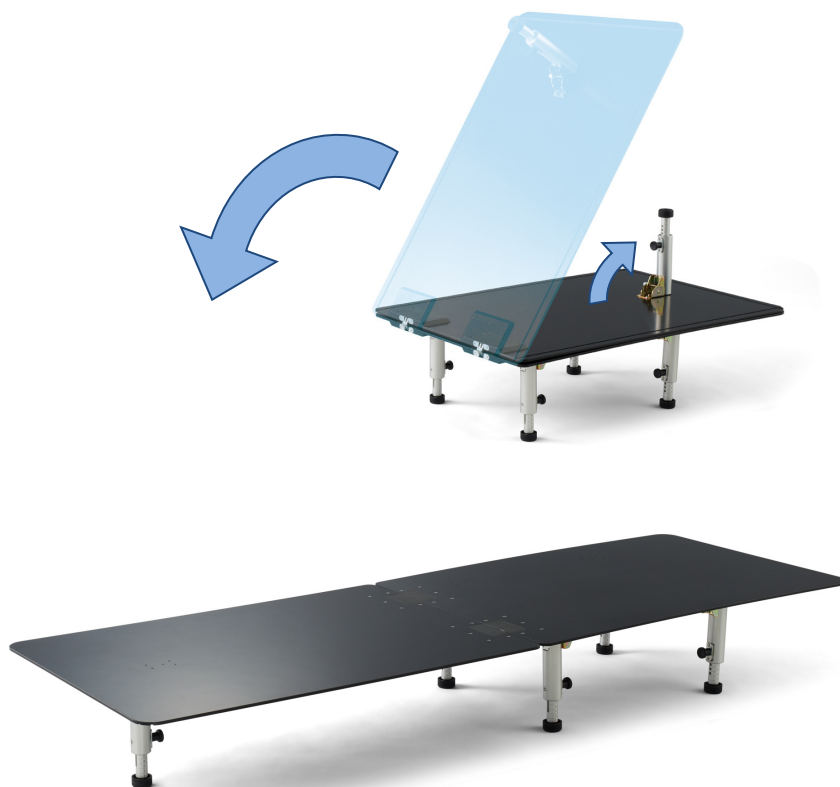


1.2 足側を平面に設置し、対面のアジャスタブルレッグ 1 本を同様の手順で立ち上げ、
IVR ワーキングテーブルを展開します。

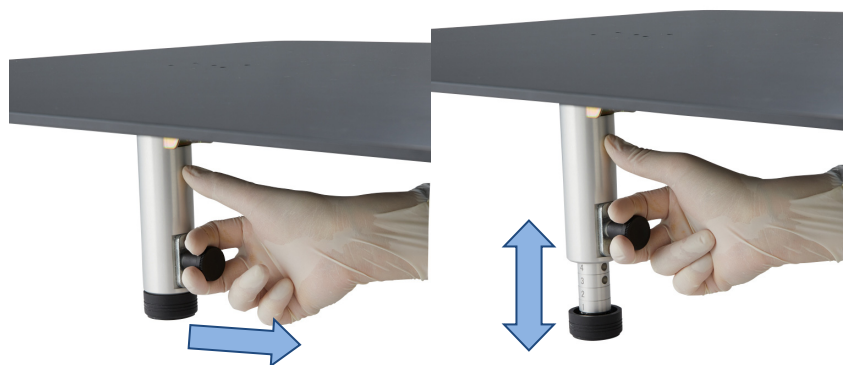


注意

※IVR ワーキングテーブル展開時、
蝶番に指などを挟まないようお気を付けてください。



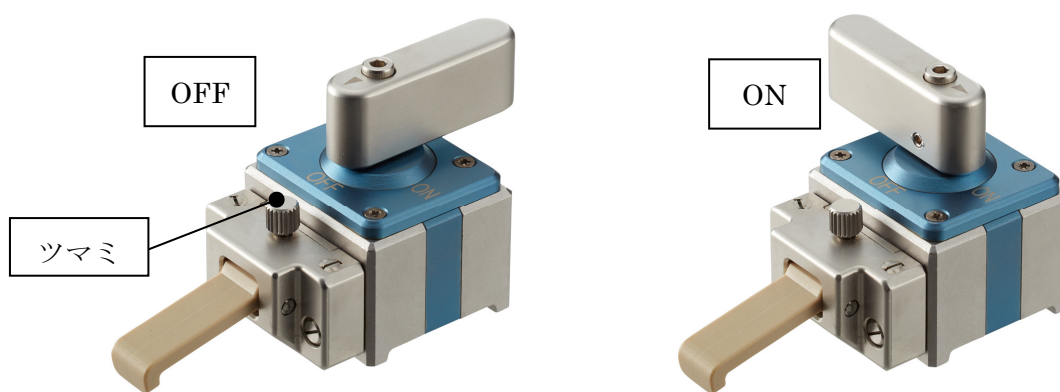
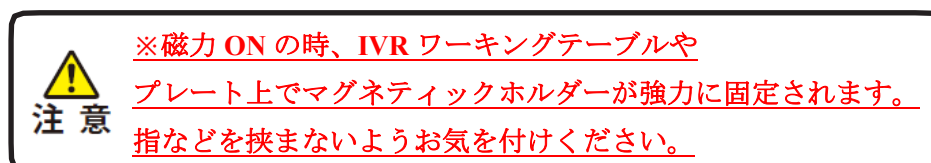
アジャスタブルレッグは、ノブを引っ張ることで 11 段階の高さ調整(186~296 mm)が行え、
患者の体格に合わせた高さ調整が可能です。



2. マグネティックホルダー

本品は Y コネクタを固定する際に用います。

ブリッジングテーブルおよびスライディングプレート上であれば磁力の ON/OFF でシームレスに着脱が可能です。



Y コネクタのホールド部はツマミを回すことでホールド力を調整できます
(右回り：強、左回り：弱)。

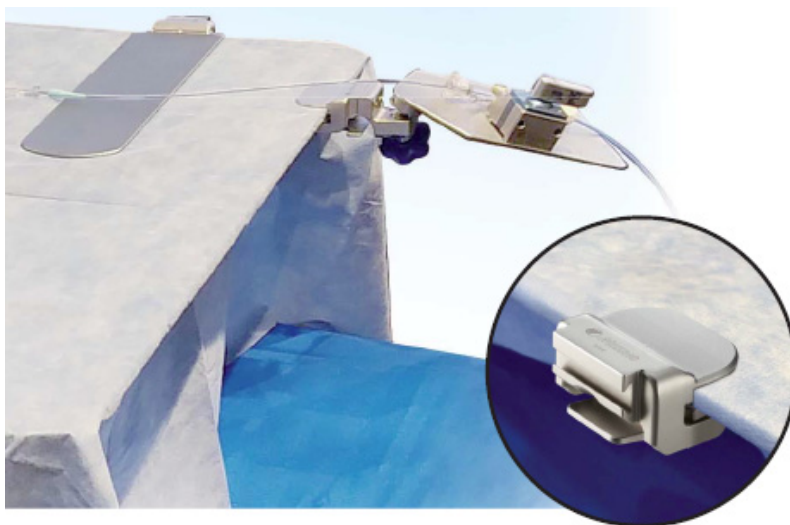
また、洗浄時は Y コネクタホールド部とマグネット部を分解して洗浄することが可能です。

3.ブリッジングテーブル・スライディングプレートの取り付け方法

ブリッジングテーブルとスライディングプレートの取り付け方法は同手順となります。
本書ではブリッジングテーブルを IVR ワーキングテーブルに取り付けます。



それぞれ下図のように滅菌ドレープの上からクランプし IVR ワーキングテーブルに取り付けますが、本書ではドレープ無しの写真で説明します。



3.1 クランプ部のレバーを解除した後、IVR ワーキングテーブルの裏溝にはめ込み、ハンドルを倒し固定します。



注意

※クランプ部が IVR ワーキングテーブルの裏溝に
はめ込まれていることを必ず確認してください。
裏溝にクランプ部がはめ込まれていない場合、
脱落するおそれがあります。



ブリッジングテーブルは上下左右動かすことができ、関節下部のハンドルを締め込むことでブリッジングテーブルを固定します。
※関節下部のハンドルは洗浄時に取り外し可能です。



4. マルチパーパススライディングベース(MSB)の取り付け

本品は覆布の固定とサイドパネルを取り付ける際に基部となる部品です。

- 4.1 クランプ部のハンドルを起こし、ハンドル側を下向きとし、IVR ワーキングテーブルの裏溝にはめ込み、ハンドルを倒し固定します。



注意

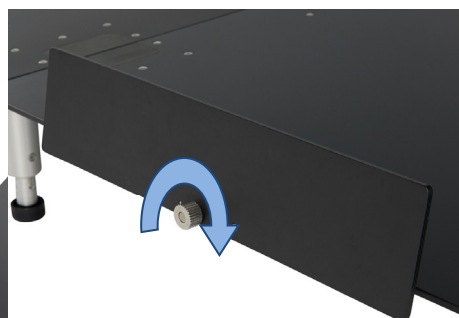
※クランプ部が IVR ワーキングテーブルの裏溝にはめ込まれていることを必ず確認してください。
裏溝にクランプ部がはめ込まれていない場合、
脱落するおそれがあります。



5. サイドパネルの取り付け

本品は主に清潔領域からガイドワイヤーのはみだしや器具の脱落を防止します。

- 5.1 サイドパネルはマルチパーパススライディングベース(MSB)のレールに通し、取り付けます。取り付け後、つまみを締め込み固定します。



注意

※つまみを締め込み、サイドパネルが固定されていることを必ず確認してください。
※サイドパネルのつまみを緩める際、ネジの可動域限界以上に無理な力でつまみを
緩めると、ネジ部が折損するおそれがあります。

ミズホ株式会社

【本社】

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目30番13号

URL <https://www.mizuho.co.jp>

販売事業部	TEL 03-3815-3097	FAX 03-3813-5068
販売マーケティング部	TEL 03-3815-3097	FAX 03-3813-5068

【営業拠点】

北海道センター 〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目6番地37山京ビル2F
TEL 011-716-4731 / FAX 011-716-4803

東北センター 〒980-0014 仙台市青葉区本町1丁目11番2号SK仙台ビル2F
TEL 022-227-1688 / FAX 022-227-1698

新潟センター 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通七番町1230番地7号
ストークビル鏡橋6F
TEL 025-229-5458 / FAX 025-222-4684

北関東センター 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目30番13号
TEL 03-3815-3193 / FAX 03-3815-1280

東海センター 〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目17番4号スズシン第2ビル3F
TEL 052-732-7130 / FAX 052-732-7131

関西センター 〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目10番24号三共本町ビル7F
TEL 06-6444-3840 / FAX 06-6444-3860

中国センター 〒730-0029 広島県広島市中区三川町7番7号三川町パーキングビル13F
TEL 082-241-8826 / FAX 082-241-8836

九州センター 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3丁目1番1号ノーリツビル福岡5F
TEL 092-431-5022 / FAX 092-474-4483

関東圏販売網（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）

ミズホアーバン株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目29番3号
TEL 03-3811-0350 / FAX 03-3811-1880

【アフターサービスカスタマーセンター】

〒285-0808 千葉県佐倉市太田2173番13号

訪問修理受付 TEL 043-481-3367 / FAX 043-481-3374

預り修理受付 TEL 043-481-3368 / FAX 043-481-3375